

資料提供	
平成27年11月4日	
担当 (担当者)	県立図書館 (中村)
電話	0857-26-8155

特別資料展「とっとり文学の情景展」を開催します

鳥取県立図書館では今年3月に、鳥取砂丘や大山など県内の名所が描かれた文学作品をテーマとした『郷土出身文学者シリーズ特別編 とっとり文学の情景』を刊行しました。このたび小冊子の発行を記念し、鳥取県が描かれた文学作品と文学者について、図書や写真で紹介する特別資料展示を行います。また展示期間中の関連行事として、米子市在住の作家である松本薫氏を講師にお招きし、郷土文化講演会「とっとりの情景を描く一作家の視点から」もあわせて開催します。

1 展示期間

平成27年11月5日(木)から11月29日(日)まで

- ・11月12日(木)は休館日
- ・開館時間 午前9時～午後6時30分(土、日、月及び祝日は午後5時まで)

2 展示内容

(1) 風紋なびく城下町―県東部が舞台となった文学―

- ・鳥取砂丘：有島武郎・与謝野晶子の歌
- ・山陰海岸：島崎藤村「山陰土産」尾崎翠「花束」「無風帯から」
- ・鳥取市：尾崎放哉の句、阪本四方太「夢の如し」

(2) 日本屈指の温泉郷―県中部が舞台となった文学―

- ・三朝温泉：野口雨情「三朝小唄」
- ・東郷温泉／湯梨浜町：田山花袋「日本温泉めぐり」遠藤周作「その一言」
- ・倉吉市：河本緑石の詩句

(3) 郷里を見守る霊峰―県西部が舞台となった文学―

- ・大山：志賀直哉「暗夜行路」、大江賢次「望郷」
- ・日南町：井上靖「通夜の客」、松本清張「父系の指」
- ・米子市：生田春月「相ひ寄る魂」

(4) 文学に描かれた現代の鳥取県

- ・桜庭一樹「砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない」「赤朽葉家の伝説」
- ・松本薫「梨の花は春の雪」「TATARA」「天の蛍」ほか

(5) 鳥取県が登場する文学作品(パネル)

3 展示場所

鳥取県立図書館 2階 特別資料展示室

4 関連行事

郷土文化講演会「とっとりの情景を描く一作家の視点から」

講師：松本 薫(まつもと かおる)氏(作家)

…米子市在住。鳥取の風景や歴史を題材にした作品を多く発表。平成19年『梨の花は春の雪』、同23年『TATARA』で鳥取県出版文化賞を受賞。今年6月には、江府町の江尾十七夜をモチーフにした『天の蛍』を発刊。

日時：平成27年11月21日(土) 午後2時から午後3時30分

会場：鳥取県立図書館 2階 大研修室